

2 大和ものがたり

月号

ASA大和北部
高木2-101-6
Tel: 042-561-3039

ASA大和南部
立野3-572-2
Tel: 042-563-7719



『東大和市の野菜を 食べようプロジェクト』

東大和市立第六小学校・第五学年の総合の学習では、『東大和市の野菜を食べようプロジェクト』について取り組んでいます。

東大和市の野菜の魅力や地域の方に再認識してもらい、地産地消を促していきたいという目的のプロジェクトです。その一環として、主に地場野菜を使ったパンの企画・販売や、地場野菜をアピールするポスター作り、地場野菜を自分たちで販売して地場野菜をアピールしていく活動を進めています。

そこで今回は、『東大和市の野菜を食べようプロジェクト』について東大和市立第六小学校の山本伸雄先生にお話を伺ってきました。

東大和市の野菜を 食べようプロジェクト のきょうかけについて

学校での学びを学校の中だけで完結させるのではなく、子供たちが生活する地域に向けて表現していくことで、学校と地域、自分たちと地域は繋がっていることを実感させたいという思いがありました。

実際の取り組みについて

習の時間では、学区の地域の特色である『地場野菜』に着目しました。子供たちの住む家や通学路のすぐそばには、畑や直売所が多くあります。また学校給食では、東大和市産の野菜も多く使われています。その一方で、『東大和市産の野菜を売っている場所があることを知っているか』について学校全体でアンケートをとったところ、半分近くが「知らない」という結果が出ました。

身近であるはずの地場野菜が、多くの子にとってあまり意識されていないという現状がありました。

このようなことから、『地場野菜』という地域の特色を生かし、ぜひ地域と関わり、さらに地域に貢献できるような学習をしていきたいと考えました。このきょうかけについて

らに地域に貢献できるような学習をしていきたいと考えました。このきょうかけについて

の学習を通して、東大和市産の地場野菜の魅力を多くの人に知ってもらおうとともに、子供たちには「自分は地域に良い影響を与えることができる」ということを実感してほしいと願っています。

東大和市の農家さんの現状を知るために、東大和女性農業者の会である「あぐりんぐ東やまっ娘」さんに本校に来ていただきました。

東大和市ではたくさん種類の野菜が育てられています。その一方で、『東大和市産の野菜を売っている場所があることを知っているか』について学校全体でアンケートをとったところ、半分近くが「知らない」という結果が出ました。

身近であるはずの地場野菜が、多くの子にとってあまり意識されていないという現状がありました。

の特徴や、ご自身の思いなどについてお話をさせていただきました。

その中で、「ただの六小の子供達とのコラボレーションとして売るのはなく、東大和市の野菜をアピールするためのパンを作りたい」ということをお話ししていただき、このプロジェクトの目的意識を改めて共有することができました。そして子供たち60人が考えたアイデアをもとに4種類のパンを新商品として開発していただきました。

さらに、パンを買ってくださった方に地場野菜をアピールするために名刺サイズのカードやポスターを作ることにしました。

実際には、野菜を実際に見ながら、絵を描いたりキヤッチコピーをレイアウトしたりしました。図工科の先生のご協力もあり、とても力強く、メッセージが伝わってくるポスターが完成したと思います。

また、『東大和市産の野菜を売りたい』という子供たちの思いのもと、野菜作りにも挑戦して

取り組みについての感想

東大和市の農作物をどうアピールしていくかの話は、パンに合う野菜やソースを調べたり、魅力を伝えるキヤッチコピーづくりや、ポスターやチラシの制作など、活動は多岐に渡りましたが、どの活動にも子供たちは意欲的に取り組んでくれたと思っています。

自分たちの思いや、やってみようという気持ちを持って成長していき、最後は、とても新鮮で美味しく、さらに環境にもやさしい東大和市の農作物。ぜひこの機会に地産地消を意識していただければ幸いです。そして、六小の5年生たちの『東大和市の野菜を食べようプロジェクト』の取り組みをぜひ褒めていただければとても嬉しく思います。

決まった時や、試作品の写真を見た時、パンが開店後すぐに売れた時などは、子供たちはとても驚いた表情をしながら、喜びの声をあげていたのが印象的でした。

このプロジェクトを通じて、子供たちは多くのご協力をいただいた地域の皆様のおかげです。ぜひお越しください！

告知情報

3月5日(木)と3月12日(木)の午前11時～12時前まで、東大和市第六小学校の西門側にて、地場野菜の販売会を行う予定です。ぜひお越しください！

読者・地域へのメッセージ

2 大和ものがたり

月号

ASA大和北部
高木2-101-8
Tel: 042-561-3039

ASA大和南部
立野3-572-2
Tel: 042-563-7719

「手をつなぐ金次郎」完成、未来へつなぐ

東大和市立第一小學校に設置されている二宮金次郎像の再生プロジェクトが完遂し、令和8年1月31日、完成披露会が行われました。長年折れたままとなっていた左手の修復から始まった本取り組みは、制作・監修を担った市内在住の現代アーティスト池平徹兵氏の着想により、単なる修復にとどまらず、読んでいた本は閉じて右手

224件の寄付
46か所の募金箱
市内商店などの協力で募金箱は46か所に設置されました。また、一小的子どもたちをはじめ、卒業生・元保護者、地域住民など最終的に224件の寄付が寄せられ、地域の力による再生が実現しました。



本と左手が欠けていた金次郎像



子どもたちの参加
夏休みワークショップでは紙粘土で「わたし」ならではの左手」を制作。また2学期には6年生が「自分ならどんな金次郎にするか」をテーマに粘土制作を行い、全員がミニ金次郎が街の募金箱の隣などに展示され、PR活動にも貢献しました。現在は蔵敷の池平徹兵アトリエ美術館「手をつなぐ金次郎展」にてこれらの作品も展示されています。(3月15日まで)

プロジェクト代表者の想い
学校と地域とアート
QRコード
手をつなぐ金次郎再生プロジェクト公式ホームページ



フードパントリーを開催します。

市内在住で食の支援を必要としている世帯に食品の配布を行います。

- 日時：①3月18日(水) 午前9時30分～午後5時 清原市民センター
②3月19日(木) 午前9時～午後7時 社会福祉協議会
③3月21日(土) 午前9時～午後5時 社会福祉協議会

対象：市内在住で①～④のいずれかに該当する世帯

- ①18歳未満の子がいる世帯
- ②障害者手帳をお持ちの方がいる世帯
- ③一人暮らしの学生世帯
- ④その他生活にお困りで食品を必要とする世帯

※一世帯一セット(定員300世帯)・生活保護世帯は対象外。

【申込み】3月6日(金)までに電話又は本会ホームページから申込み。(要事前申込)
【問合せ】東大和市社会福祉協議会 TEL 042-564-0012

社会福祉協議会から

編集後記

今月号は、東大和の野菜を通じて地域と学校がつながる姿、そして金次郎再生プロジェクトという「手をつなぐ」挑戦を特集しました。子どもたちの真剣なまなざしと地域の温かな支えが、未来への

力になっていきます。その背景には、子どもたちの信じ、根気強く導いてくれた先生方のご尽力がありました。日々の丁寧な指導と情熱に、心より敬意と感謝の意を表します。これから、も身近なまわりの物語を、丁寧に届けていきます。ASA大和南部 奥田